

町のうごき	
本籍数	5,621
本籍人口	17,051
世帯数	4,649
	(4,638)
住民登録人口	17,297
	(17,255)
内 {男	8,462
女	8,835

55年1月1日現在
 ()内は54年12月1日現在

広報 てんのう

No. 206

昭和55年

2月1日発行

発行・秋田県天王町役場 電(018878)2211~4

編集・企画室 印刷・秋田協同印刷 電(0188)237477~8



▲色つけもていねいに、もうすぐできあがり

「タコはこう
いうふうにも…」
真剣なまなざし
▼で説明を聞く

塩 児童館で楽しい一日

「伝承文化の集い」

遊びを、みんなで作るな
 ら楽しく……。

一月十七日、各児童館の協賛で、子ども
 たちが一同に集い、仲間意識の高揚をはかり、集
 団で創作、健全育成の活動をより発展させようと、塩
 児童館を会場に、「伝承文化の集い」が行われた。
 これは、子どもたちで昔なつかしいタコや竹馬、竹ト
 ンポを作り、昔の遊びのよさを見直そうと行われたもので、各
 児童館よりの約六十名の子どもたちが集まった。
 最初はタコづくり。各グループごとに行うてを競った。
 あらかじめ父兄の方々が作ったタコを見本に、竹けずり、竹細み、
 そしてドラエモンやサルなどを描き、完成。出来上がりのよさに思
 わずニッコリ。
 子どもたちの感想は、「思っていたより簡単だったが、竹けずりがあ
 かしい……」とのこと。
 次にフンブンや竹トンポ、竹馬を作った。
 竹馬は竹が足りず、タル木を使用。竹と違い、丈夫な竹馬が出来
 あがった。
 午後三時頃にはほとんどが完成、子どもたちはさつき々々タコの
 試験飛行を行った。
 当日は、風も弱く、タコあげには絶好の日和とはいえないか
 ったが、それでも細心のオツバをつけたタコは力強く
 舞いあがり子どもたちは大喜び。楽しい一日を過
 した。
 関係者は、好評を得た「伝承文化の集い」
 をもつといるる内容を取り入れ、
 今後も続けていきたいと語って
 いた。



「これでいい」
のかナー」
竹けずりを
終えて慎重
に竹組み



無火災を祈って

一月八日に出ぞめ式

有功章に菊地東太郎氏

表彰者は次のとおり

◇秋田県知事表彰◇

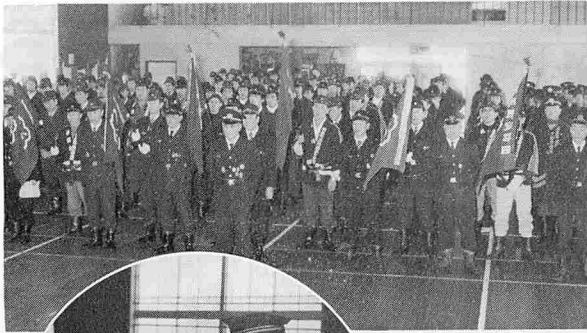
一月八日、町消防団恒例の出ぞめ式が町公民館を会場に行われた。

当日は、町内の十二分団より二百四十四名の団員が参加各分団ごとに整列して式典にのぞんだ。

式典では、柏崎消防団長が出席人員を報告、続いて団旗入場、そして無火災と消防団員の安全を祈願した。

また、永年にわたって消防活動に功績のあった方々の表彰が行われた。

整列する天王町消防団の精鋭たち



▲ 有功章を受ける菊地東太郎氏

○有功章 菊地東太郎(4)

○四十年勤続章 桜庭喜八郎 一 副団長

○三十年勤続章 吉田兼広(5)、桜庭兼太郎(7)、桜庭兼太郎(7)、佐藤金孝(7)、佐々木吉男(8)

○二十年勤続章 武田竹広(3)、菊地鉄四郎(4)、菊地金美(4)、石川象雄(7)、桜庭金三郎(7)、桜庭清悦(7)、佐々木松雄(8)、佐藤清(10)、渋谷貞雄(10)、渋谷茂一(10)

◇秋田県消防協会会長表彰◇

○顕功章 松村政雄、三浦久之助、佐々木貞直

○功労章

菊地福右衛門(4)、吉田新一(5)、佐々木嘉吉(8)、佐々木雷蔵(8)、加賀谷与市(8)、渋谷市郎(10)、菅原兼太郎(12)

○十五年勤続章 成田勇三(9)、渡部喜美雄(9)

○十年精勤章

石井哲男(1)、天野吉基(1)、児玉金市(2)、村山久己(2)、藤原金広(3)、児玉一夫(3)、伊藤寿春(3)、伊藤正隆(3)、藤原孝志(3)、田村修一(3)、菊地政春(4)、菊地三郎(4)、武田新悦(5)、三浦林一(5)、菅生勇一(11)、渋谷雪雄(11)

◇男鹿南秋支部長表彰◇

○七年勤続章

桜庭余三郎(1)、藤原昭弘(3)、藤原忠紀(3)、菊地福一郎(4)、菊地晴男(4)、菊地孝次郎(4)、菅生周蔵(11)

○優良消防団員

藤原金作(1)、村山金光(2)、金子 司(2)、藤原忠紀(3)、菊地政春(4)、菅原長八(5)、安田金幸(6)、石川善太郎(7)、加賀谷竹雄(8)、佐藤智雄(9)、加藤仁五門(10)、菅生義弘(11)、菅原徳志(12)

◇男鹿地区

連絡協議会長表彰◇

○五年勤続章

佐々木一昭(2)、村山 稔(2)、村山金光(2)、柏崎幸夫(2)、石川国男(2)、桜庭浅春(2)、伊藤勝美(3)、伊藤一昭(3)、安田民雄(6)、桜庭勇一(7)、渋谷健一(10)、佐藤 勉(10)

◇天王町長表彰◇

○消防施設整備協力者

児玉金作(天王)、藤原新蔵(江川)、滝広明(秋田市)、成田長治(追分)

○無火災分団表彰

第二分団(天王)、第四分団(上出戸)、第五分団(大崎)、第七分団(塩田)、第八分団(下出戸)、第十一分団(中羽立)、第十二分団(細谷)

昭和五十五年度 転作の基本方針決まる

一、基本方針

国では、米の需給均衡対策と大豆、麦等の国民食生活需要の生産拡大を図るため、昭和五十三年から、おおむね十年間における長期的な事業として水田利用再編対策を発足させ、昭和五十三年度から昭和五十五年度までの三年間を第一期とし、この三年間は原則として転作目標面積を固定する方針を打ち出していました。しかし、全国的に目標を上回る転作実績を挙げたにもかかわらず、米の需給を解消できないということから積増し面積の配分となりました。

このことについて、町では、一期三年間固定の原則を堅持するよう強く要望してきたところですが、五十七ヘクタールを積増した百四十九ヘクタールの配

町ではつきにより、職員を募集します。

▽保育園調理士 四名
昭和二十年三月三十一日以降に生まれた者で、調理士の資格をもっている者、または調理士の資格を取
得しようとする者。

▽運転手 一名
昭和二十四年三月三十一日以降に生まれた者で、幼児バスの運転を担当するので、大型一種以上の免許を有する者

▽共通応募資格
町職員のなかに、肉親のいる方は応募することができません。

▽提出書類
履歴書および資格を証明するもの各一通を役場総務課に提出してください。

▽受付期間
昭和五十五年二月十五日の午後四時まで受けつけます。

▽試験
一般教養
作文、面接の試験を行います。試験の日時、場所については応募者に連絡します。

▽問い合わせ
その他詳しいことについての問い合わせは、役場総務課におねがいします。

分し、積増し分五十七ヘクタールについては水田耕作面積(総面積)による一律比例配分とする。

三、町などの奨励額と転作条件整備

分がなされました。

この取り組みについては、天王町水田利用再編対策協議会で慎重に協議した結果、不本意ですが農家配分にするにしましたので、この間の事情をご理解くださるとともに、ご協力くださるようお願いいたします。

二、面積の配分と推進方針

(1) 今回の積増し分については目標未達成の場合の公平確保措置は適用しないとされているが、積増し分も含めた百四十九ヘクタールを基本的には農家配分とし、効率的な転作を進めるため、地区ごとの話し合いによる計画転作を推進する。

(2) 第一期当初の目標面積九十九ヘクタールについては従来通りの配分方針に基づいて配

(1) 計画転作地区における町などの奨励額の交付は、原則として積増し分については認めないが、第一期当初配分目標面積の予算の範囲内で積増し分も含めた転作田に按分する。

(2) 土地基盤の整備については転作物物の生産拡大と、その定着を図るため、排水改良(排水路の整備及び暗渠排水)を重点に、一ヘクタール以上の団地整備には、地域農業生産総合振興事業の積極的な導入と合せ町補助を行う。

(3) 小規模な基盤整備については、天王町農業機械化管理センターの暗渠用トレンチャー及びバックホーの活用を進めるとともに、積単の転作農家特別貸付金の積極的な活用を

あつせんする。

昭和55年度町、県民税申告相談日程表

月日	曜日	対象地域	世帯番号 (上2ケタ)	申告会場	時間
2. 5	火	追分, 長沼	53, 54, 55	追分分館	午前9時30分~午後3時30分
5	火	牛坂	52	牛坂分館	"
7	木	上北野, 追分西	50, 51	北野児童館	"
8	金	上出戸	48, 49	上出戸分館	"
9	土	細谷	47	細谷分館	午前9時~午前11時30分
9	土	三軒屋	48	三軒屋分館	"
12	火	出戸新町	46	出戸地区コミュニティセンター	午前9時30分~午後3時30分
13	水	下出戸	44, 45	下出戸分館	"
14	木	二田, 鶴沼台	41, 42	鶴沼台児童館	"
15	金	二田	38, 39, 40	二田児童館	"
16	土	蒲沼, 棒沼台	43, 59	蒲沼分館	午前9時~午前11時30分
18	月	二田	31, 32, 33, 34, 35, 36, 37	天王町公民館	午前9時30分~午後3時30分
19	火	羽立	05, 06	羽立分館	"
20	水	羽立	07, 08	"	"
21	木	大崎	26, 27, 56	大崎生活館	"
22	金	大崎	28, 29, 30	"	"
25	月	中羽立	04	中羽立分館	"
25	月	渋谷	09	渋谷分館	"
26	火	塩口	01, 02, 03	塩口分館	"
27	水	江川	21, 22, 23, 24	江川老人の家	"
28	木	児玉	25	児玉児童館	"
29	金	旭町, 東荒町, 西荒町	13, 14, 15	戸主会事務所	"
3. 4	火	本町, 下町, 曲町下	16, 17, 18	"	"
5	水	神明町, 上荒町	10, 11, 12	天王本郷分館	"
6	木	曲町上	19, 20	"	"
7	金	塩口北野	57	塩口北野分館	"
7	金	羽立北野	58	羽立北野分館	"

※ 都合により上記地域の申告日に申告できない方は、3月15日まで必ず役場税務課で申告して下さい。

譲渡所得説明会、確定申告納税相談日程

月日	曜日	内容	対象	会場	時間
2. 6	水	譲渡所得説明会	全町	天王町公民館	午前10時~午後4時
3. 3	月	確定申告納税相談	"	"	"

町・県民税申告 相談を実施

昭和五十五年、町、県民税の所得（昭和五十四年一月一日～十二月三十一日までの所得）申告相談を次により行います。

▽申告期間
昭和五十五年二月五日～昭和五十五年三月十五日
各地域ごとの所得申告相談日は別表のとおり。

▽申告をしなければならぬ人
○昭和五十五年一月一日現在

天王町の住民基本台帳に登録されている人。（一月一日現在に他の市町村に登録されている人でも生活の根拠が天王町にある場合は、天王町に申告しなければなりません。）

○昭和五十四年中の所得が給与所得のみで、勤務先から町長あてに給与支払報告書が提出されている人は、原則として申告する必要がありません

が、次のような場合は申告する必要があります。

- ① 給与所得以外の所得がある場合
- ② 雑損、医療費控除申告をする場合
- ③ 二カ所以上の所得がある人は確定申告をしなければなりません。（たとえば、給与所得と農業所得や、営業所得などがある人）

▽申告をしないでよい人
○所得税の確定申告（青色、または白色申告）をする人
○給与所得のみで、給与支払報告書が勤務先から提出された人

※ 事業税の申告を必要とする人は、町、県民税の申告をすることによって事業税の申告書を提出する必要がありません

▽申告相談のときの必要な書類

- 町、県民税の申告書
- 国民健康保険、社会保険証（家族構成のわかるもの）
- 源泉徴収票、または給与証明書（勤務先よりもらって下さい）
- 営業所得の場合は、所得計算内訳書
- 国民健康保険税、国民年金、支払医療費、生命保険料の領収書、または証明書
- 大農具の修理費（一農具五万円以上のもの）支払小作料、水田整備整備費に係る費用、客土費、借入金利子などの支払領収書、農協精算書
- 印かん

郷土史コーナー 【88】
雪ぞり

シャンシャンと鈴を鳴らしてそりを引いた馬が雪道を走って行く。物陰に隠れていた悪童どもがさつと飛びつく。馬方にいものがめだてされるのかと、はらはらしながらも雪道を疾走する快感を味わったものだ。

耕運機の普及とともに、昭和三十六年（一九六一年）頃から馬はほとんど飼われなくなり、馬そりも姿を消した。

田に堆肥を運ぶには、こえひきぞりが使われた。子どもたちは、自分の背丈に合ったそりを造ってもらい、坂道を滑って遊んだ。

箱ぞりは、日用品や人を運ぶのに用いられた。ベンガラ（紅殻とも）を塗った板で箱を

造り杉の白木で縁どりをし、格子を入れるのが型どりのデザインである。

風防用にテントのように屋根を取り付けたもの、手前の横板に屋号や紋をすかし彫りにしたしゃれたものもあつた。その滑りを良くするため下に細長い鉄片を打ちつけていた。その鉄片に指先が吸い付く寒さの中でも、大人は働き、子どもは遊び回っていた。（石川記）



会員募集

「文友天王」

「文友天王」——会長児玉俊一では、会員を募集しています。同会は、日常生活の中から生まれる、随想や、体験記、紀行文などを自由に発表しようとして、昭和五十三年に発足したもので「松涛」創刊号、第二号を発刊好評を得ています。

今年、第三号を発刊する予定です。

世界農林業センサス

一九八〇年——に協力を

五年ごとに行われる世界農林業センサスが、二月一日から実施されます。

今回は農業ならびに林業に従事している世帯及び事業所が対象です。

耕作面積、家族の就業状況、農機具の所有状況、家畜飼養頭数、山林面積、山林販売額等の項目について調査します。

なお、調査項目につきましては統計以外の目的で使用することはありません。

▽申し込みは、ハガキに、住所、氏名、電話番号を記入し、町公民館に二月末日まで申し込んでください。

▽会費——三、〇〇〇円（年）

▽会員は、町在住か、もしくは

冬場は、例年、夜間の交通事故が増えます。一年を通してみた昼夜別の死亡事故件数は、昼間五十一%、夜間四十九%（いずれも五十二年）とほぼ同じですが、二月は昼間の四十四%に比べて夜間五十六%と、他の月より夜間の比率が高くなっています。

交通安全 死亡事故多し！ 冬の夜間

また、年間を通してみた交通事故による死亡率は、夜間は昼間の三倍近くにもなっています。つまり、同じ交通事故でも、夜間は昼間の三倍も死につながる危険性あり——というわけです。運転者のみなさんよりもより歩行者の方も、夜間はとくに気をつけましょう。

歩行者のみなさんへ

危険！ カメレオン・ルック

暗い夜道を黒っぽい服を着て歩く——これほど危険なことはありません。

ご存じ、カメレオンは自分の身を守るために、周囲と同系統の色に「変身」しますが、わたしたち人間の夜間の交通事故防止策は、その逆をいかなければなりません。

警察庁が行った実験により、まず、夜間に運転者が歩行者を確認できる距離（視認距離）は、歩行者の着る服装の色によって大きく違います。

歩行者の服装が白または黄色の場合、百二十メートル以上の距離からでも運転者は視界にとらえることができますが、灰色になると七十メートル前後、黒にいたっては四・五十メートルが見える限界で、わずかに二十メートルに車が近づいてもはつきり確認できない場合もあります。

この調査からもおわかりのように、白や黄色と黒い色では、運転者の視認距離に大きな差があります。この「差」が危険な

運転者のみなさんへ

“魔の時間帯” 夕暮れ時

一日のうち、どの時間帯にいちばん多く死亡事故が発生するか——昭和五十三年を例にとりますと、年間死亡事故件数八千三百十一件のうち四分の一にあたる二千九十九件が、午後四時から八時の間に起きています。

夕暮れから宵にかけての四時間、運転者にとっても歩行者にしても、最も注意を要するときです。

薄暮時は、急に視界が悪くなるばかりか、買い物や家路を急ぐ人たちが道路は混雑をきわめます。

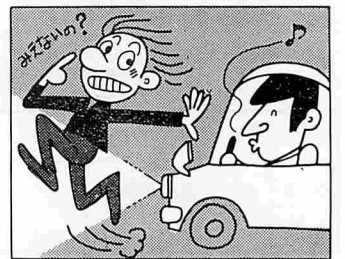
運転される方は、夕暮れ時には昼間よりスピードを控え目にしたり、人の動きはことさらに気を配るなど、昼間とは違った配慮が必要でしょう。

ヘッドライトは 早目につけよう

日が暮れかかるころから、真っ暗になるまでは若干の時間があります。そして、薄暮時は、刻々とやみに向かって時を刻んでいますから、わたしたちが感じるより実際は暗いことが多いものです。それで、ついついヘッドライトをつけるのが遅れがちになります。

「まだ明るいから大丈夫」と思う時が、実はヘッドライト点灯の時刻なのです。ヘッドライトをつけることで、歩行者にも自動車の通行に気をつけてもらうことができるので、それだけ安全です。

ヘッドライトは、早目につけ



あの「ねずみ小僧」は、黒装束でやみに身を隠しましたが、あくまでもクルマのない時代のお話。
夜の外出はなるべく明るい色の服を選ぶのが賢明なようではありません。

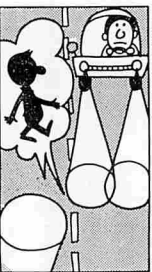
“蒸発現象”に 注意

歩行中、自分の車と対向車のライトが交錯して、道路の中央部分が一時的に見えなくなる場合があります。

これを「蒸発現象」といいますが、もしその中に歩行者がいたら、考えただけでもゾッとします。

この「蒸発現象」からもおわかりのように、ライトをつけていれば安全とタカをくくるのは考えものです。とくに冬場は、オーバーをはじめ黒っぽい服装が多いため蒸発現象も起こりやすいといえます。

運転される方は、とくにご注意を。



気温をベースにしているのではないかと考えられる方もおられるかもしれませんが、残念ながら違います。

普通、平年の気温とは、30年間の同じ日の同じ時刻の気温を平均したものです。しかしうるう日の2月29日の場合は同じ日が4年に1度しかないので、仮に普通の日と同じ方法ではじき出すとなると、120年前の気温まで使わなければ平年の気温が出てきません。

そこで2月29日は前後何日かの気温を参考にして、統計的な操作で前後とあまり不連続にならないように計算されています。ですから決して3月1日の気温を2月29日に振り替えているわけではありません。

振り替える、といえ、むしろ逆に、うるう日の誕生日を3月1日に祝うケースはあるようですが。

4年に1度のうるう年 2月29日の平年の気温とは？

ことしは4年に1度のうるう年。現在わたしたちが使っている暦では、1年を365日としていますが、実際に地球が太陽の周りを1周するには365.242194日かかります。ということは1年間に約0.25日、時間にして約6時間の差ができます。

この年間「0.25日」は4年で約「1日」になり、その誤差を修正するため4年に1度、2月を1日増やし、その年をうるう年、2月29日をうるう日と呼んでいます。うるう年にはオリンピックとアメリカの大統領選挙があり、今年がその年に当たります。

ところで天気予報の話になりますが、その日の気温は「平年に比べて」高いとか低いといった基準で発表されますが、さて、うるう年の2月29日の場合はどうなるのでしょうか。うるう日の平年の値とは？ 3月1日の平年の

親睦と融和のもとに

若さでアタック

第三十三回

天王町家庭バレーボール大会

十七日に開催

第一回天王町ドッジボール大会

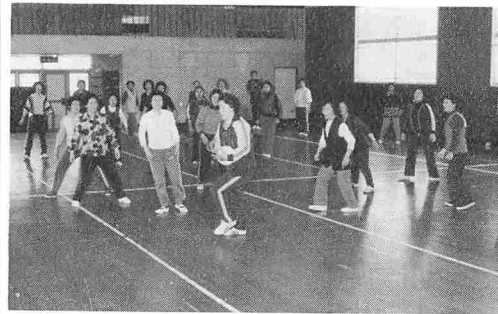
男子 二田

女子 児玉

が優勝



「やられたー」
ちょっと ゆだんするとアウ
トノ(男子)天王小体育館)



「よいしょ」とおなかで
受けとめれば安心ノ
(女子)町公民館)

ふだんスポーツに接する機会
の少ない四十歳以上の男女を対
象とした、第一回天王町ドッチ
ボール大会が一月二十日、町公
民館、天王小体育館を会場に行
われた。

試合は、十五人一組とし、十
分ハーフで行われた。
ドッジボールは、以前さかん
に行われていたスポーツだけに
昔とった何とかで、すぐになじ
み、熱戦が展開された。

当初、男子八、女子五の十三
チームの申し込みであったが、
キケンチームもあって、男子六
女子四の十チームの参加となっ
た。

ドッジボールは、見た目より
も激しいスポーツで、時間いっ
ぱい走り回る選手は汗にまみれ
て試合が行われた。

女子では、チーム数が少いせ
いもあってリーグ戦となった。
その結果、安定したパスワー
クと、チームワークで児玉チー
ムが圧倒的な強さを発揮して優
勝、天王チームが準優勝に輝い
た。

男子では、敗者復活戦をとり
入れ、決勝トーナメントが行わ
れた。

初戦ではどのチームも気持ち
だけが優先し、思わぬ力が入っ
てライオンクロスが突出、審判団
も判定に一苦勞。終始笑いの中
で試合が進められた。

二田チームは、冷静な試合運
びで他チームを退け、準決勝の
天王チームとの対戦では、相手
コートに選手が残らないほどの
強さをみせて快勝。

決勝では、出戸新町チームと
対戦、前半二田が九対一とリー
ド、後半出戸新町が八対四と追
いあげたが、時間切れで惜敗、
二田チームに勝利の女神が輝い
た。

成績は次のとおり

▽男子

- 。優勝 二田チーム
- 。準優勝 出戸新町チーム
- 。三位 天王チーム
- 。四位 児玉チーム

▽女子

- 。優勝 児玉チーム
- 。準優勝 天王チーム
- 。三位 二田チーム
- 。四位 羽立チーム

二十四日に柔道大会

天中柔剣道場を会場に

天王町柔道連盟の主催による
第十五回天王町柔道大会が次
より行われます。

▽とき 二月二十四日

▽ところ 天王中柔剣道場

▽競技種目

- ① スポ少団体戦
- ② 中学校団体戦
- ③ 高校団体戦
- ④ 一般地域対抗戦
- ⑤ 一般紅白試合
- ⑥ 一般個人戦

▽申込み期日

二月二十日(水)、役場建設課
鈴木司まで。(④)⑥の一般の
み)

全町バスケット

ボール大会開催

▽とき 二月十日(日)

▽ところ 天王小体育館

▽チーム編成

部落ちまたは職場チームとする
▽申込先 役場建設課鈴木為彦
※抽選は当日行います。



ちょっと

“ひとこと”

シリーズ 丈夫な赤ちゃんを (2) 生むために

ひと昔前は、ねずみ対策として
猫を飼っている家がほとんどで
したが、最近ではペットとして人間
と同じようにかわいがっている人
が増えています。

家庭で、動物や鳥類を飼うこと
は、情緒発達の面で子どもによい
影響を与えます。

しかし、ペットの中で特に猫の
腸の中にはトキソプラズマという
虫があり、この虫は人間の体に住みつきやすく、トキソ
プラズマ症をおこす原因になるといわれています。

症状は、風邪に似ており、気づかないうちにかかって
いることがあります。

普通の大人は、かかってもすぐになおりますが、たまた
ま妊娠している時にこの病気にかかると、流産、死産
、あるいは早産になったり、水頭症(福助頭)、精神薄
弱、てんかん、聴覚や眼の異常などの障害をもった子
どもが生まれるということがわかってきました。

障害をもった子どもが生まれた場合は、親として人の
知らない苦勞を背負うことになります。

このトキソプラズマは、およそ45℃で死んでしまいま
すので、妊婦さんは肉を食べる場合、必ず火を通して食
べるようにしましょう。

また、猫は新たに飼わないようにし、猫がいる場合は、
生肉を食べさせないようにしてください。かんづめや
乾燥したエサが安全です。そして、猫のフンにふれない
ようにし、よその猫を抱いたり、なでたりしないよう
にしましょう。庭に出て土いじりする場合はゴム手袋を使
ってください。このようなことに注意して、丈夫な赤
ちゃんを生んでいただきたいと思えます。



お知らせ

◎乳児検診

- とき 2月13日(水)
- ところ 天王町公民館
- 対象 54.11月生まれ
- 受付 午後1時30分～2時
- 対象 54.9月生まれ
- 受付 午後1時～1時30分

◎1歳半検診

- とき 2月8日(金)
- ところ 天王町公民館

- 対象 S53.7月生まれ
- 受付 午後1時～1時30分

◎離乳食教室

- とき 2月13日(水)
- ところ 天王町公民館
- 対象 S54.5月生まれより、保健所栄養士により行います。
- 受付 午後0時30分

天王町俳句会(一月)



天王 児玉 伯秋
寒の水澄み極りぬ慈母観音
二田 三浦 絹子
新雪や犬の走りしままに行く
塩口 桜庭与三郎
新年の白紙綴じたる句帳かな
追分 藤原 邦
元朝は鳥にも屠蘇をそとおき
天王 米谷 冬華
紅顔の映えて凜々しや初詣
二田 村井 広子
解禁の鴨持ちて来る隣り人
天王 京谷 蒼湖
初詣駅からつづく人の群れ
二田 渡部 ツナ
病院で聞く除夜の鐘一人老ゆ
大崎 菅原 由松
老いし手に太鼓の音や寒苦行



天王町短歌会(十二月)

江川 伊藤テツエ
広告の裏の白きを選び置きて人
に知られぬ落書き楽しむ
追分 佐藤 金
川べりの石を枕にまどろみし毛
布の上に霜降りてあり
(昭和二十一年十月)

二田 三浦 絹子
日なた選りわが膝枕に顔刺りし
娘のぬくもりの伝わりてくる
追分 佐藤 正一
年賀状一人ひとりの顔浮かべ歌
など添えて早ばや書きぬ
塩口 桜庭 たえ
公孫樹の葉敷かれし中に敷こう
じ可憐なつぶら実紅く視かす
蒲沼 鎌田 昭子
老姑はつるべ落としの日だまり
に小さくなりて豆を打ちおり
追分 村木 たけ
幼顔まだのこしいて新調の背
広にてれつつ子は出かけゆく

